

新名神高速道路全線早期整備に関する
緊急要望

平成24年3月

関西広域連合

新名神高速道路は西日本と東日本を結び、日本の産業・文化・社会経済活動を大きく支え、更には国際競争力のある広域的な地域経済圏を構築する新たな国土軸である。

また、東日本大震災を受け、高速道路のダブルネットワークの必要性が再認識されたところであり、国土のリダンダンシーの確保を図るためミッシングリンクである新名神高速道路の早期全線整備を強く求める。

一、「着工見送り区間」とされている「大津～城陽」、
「八幡～高槻」間について早期に着工判断すること。

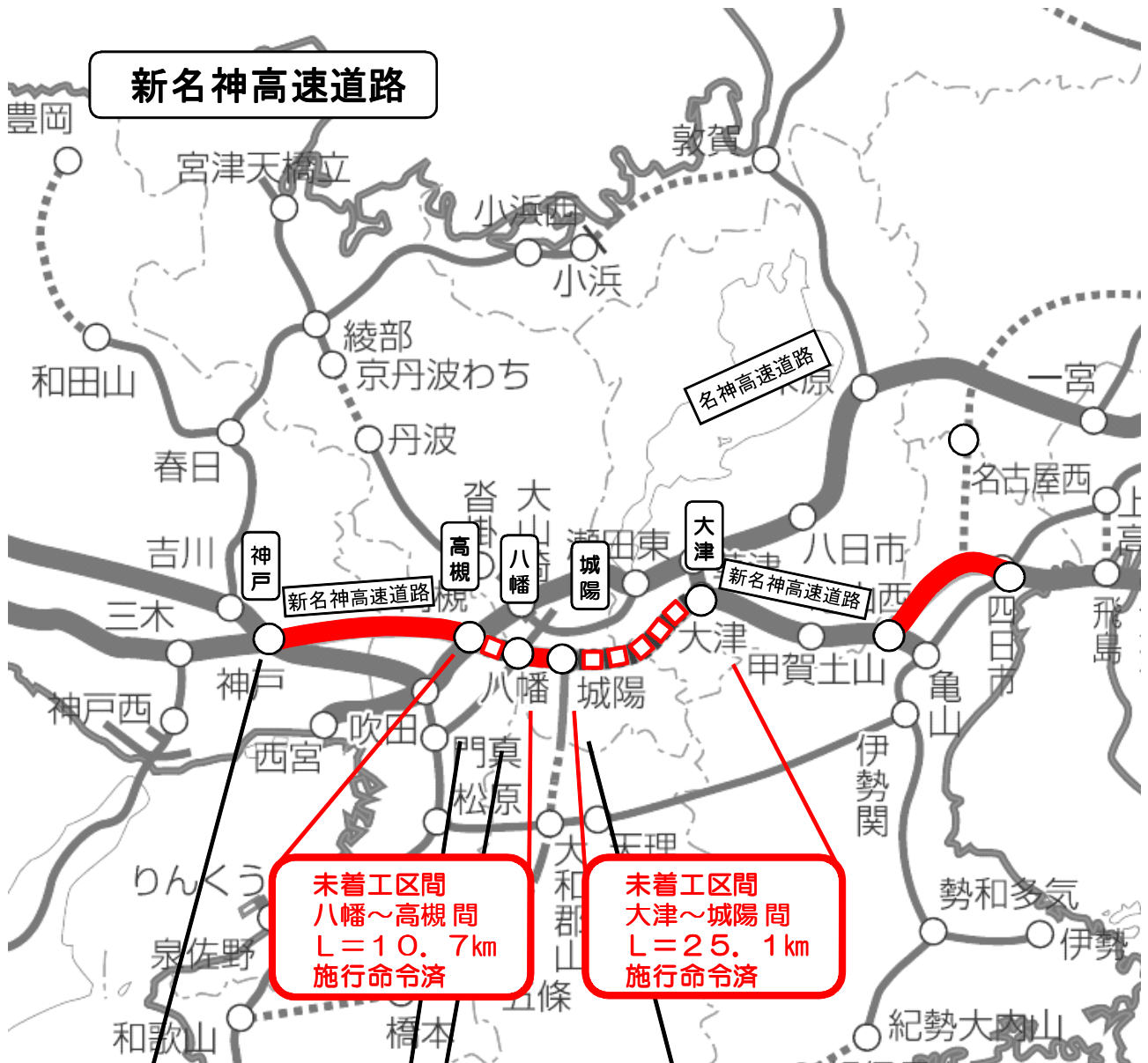
一、事業中である「城陽～八幡」、「高槻～神戸」間について、整備促進を図ること。

平成24年3月

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸	敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂	吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田	由紀子
委員	京都府知事	山田	啓二
委員	大阪府知事	松井	一郎
委員	鳥取県知事	平井	伸治
委員	徳島県知事	飯泉	嘉門

新名神高速道路



未着工区間
八幡～高槻間
L=10.7km
施行命令済

未着工区間
大津～城陽間
L=25.1km
施行命令済

事業中区間
高槻～神戸間
L=40.5km
H28年度完成予定

事業中区間
城陽～八幡間
L=3.5km
H28年度完成予定